

各位

2022年3月24日

2022年7月期第2四半期決算説明会 質疑応答集

本日開催されました、2022年7月期第2四半期決算説明会における主な質疑応答は下記のとおりです。
なお、記載内容につきましては、ご理解いただきやすいよう一部に加筆・修正をしております。

日時：2022年3月24日（木）15:10

出席者：代表取締役社長 金 武祚
専務取締役 益田 和二行

Q1	広告費の比率が高いが、今後もこの水準が継続するのか
A1	1件ごとに回収が見込めるか判断した上で広告費を投下しているため、最初から売上に対する比率を決めての運用は行っていない。今後も1年から1年半で回収が見込めると判断できれば積極的に広告費の投下を考えている。
Q2	広告宣伝に対する定期顧客獲得の効率が下がっているように見える
A2	前年度はコロナの影響により、テレビ媒体中心に広告枠を極めて安い単価で購入することができた。そのため、前年度の効率と比べると、効率が悪くなっているように見えてしまうが、本年度は通常の単価・効率に戻っただけであると捉えている。
Q3	バイオメディカル事業の進捗
A3	自己免疫疾患領域で、新たな創薬ターゲットの研究が極めて順調に進捗している。
Q4	卵殻膜繊維の売上目標
A4	中長期的に20～30億円を目指す。繊維素材としての販売と通信販売での直接販売を考えている。
Q5	卵殻膜繊維が注目を浴び、NHKで放送されるとのことだが具体的にいつか
A5	詳細が分かり次第当社WEBサイトにて公表する予定。
Q6	ファーマフーズのサプリを明治薬品の工場で生産する可能性はあるか
A6	将来的に、当社サプリメント等を明治薬品にて生産することが実現できたらと考えている。しかし現状は明治薬品のシボラナイトGOLDが好調で、工場稼働率が子会社化当初の60%から、現在は90%を超えているため、その余地がない。今後、工場への設備投資も考えているため、ご期待いただきたい。
Q7	中期経営計画の1,000億円の売上目標に対する、海外比率の目標を知りたい
A7	国内通販の規模が大きいため、海外売上比率は10%程度になるのではないかと。ただ、この比率を上げることができれば、1,000億以上の売上が見込めることになる。